

ひょうご部落解放・人権研究所

HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

編集・発行 /

一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

〒650-0003

神戸市中央区山本通 4-22-25

兵庫人権会館 2階

TEL:078-252-8280 FAX:078-252-8281

e-mail:blrhyg@extra.ocn.ne.jp

URL:http://www6.ocn.ne.jp/~blrhyg/

新たな歴史を刻む場に

社団法人ひょうご部落解放・人権研究所は、新法人法により、本年4月1日から、「一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所」と名称が変わり、本年8月から、事務所も兵庫人権会館2階に変わりました。そして、研究所で所有していた書籍等のうち一部を除く約1万冊は、兵庫県人権啓発協会（のじぎく会館）に寄贈し、当面共同管理してもらうことにしました。

研究所の名称や所在地が変わっても、従来、活動の基本としてきた「研究所の内容の充実と幅広い活動」や「利用され役立つ研究所に」は、変わることなく活動を行っていきます。

現在、研究所は、部落解放同盟兵庫県連合会から委託された「兵庫県被差別部落女性の実態調査」の報告書等の作成を終え、「人権歴史マップ但馬版」の10月発行を目指しています。その後、「人権歴史マップ淡路・神戸増補版」の作成にとりかかることにしています。この他「人権問題報道関係者懇談会」や「部落解放・人権教育研究推進兵庫県大学連絡会」を開催してきました。

また、「部落解放研究第32回兵庫県集会～創ろう人権社会・深めようきずなと支え合いー狭山事件の再審実現と東日本大震災への支援をー」（10月29日～30日：城崎）の成功を目指して取り組んでいます。

今後は、「人権問題講座」の開催、機関誌「ひょうご部落解放（秋・冬・春号）」や「研究紀要」の発行を予定しています。新事務所が「新しい歴史を刻む場」になるよう、スタッフ一同努力していきます。ぜひ、研究所にお立ち寄りいただき、人権問題の活動にお役立て下さい。

また、研究所が、これまでの活動を継続し、さらに充実させるためには、多くの方々のご支援やご協力が欠かせません。ぜひ、今後とも研究所の活動を支えてくださるようお願いするとともに、これまでのご支援、ご協力に感謝を申し上げ、名称変更・事務所移転のご挨拶にかえさせていただきます。

研究所事務局

新事務所のご案内

事務所移転にともない、住所、電話番号、メールアドレス等が下記のように変更になりました。よろしくお願いいたします。

一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所

〒650-0003

神戸市中央区山本通4丁目 22-25

兵庫人権会館2階

TEL:078-252-8280 FAX:078-252-8281

E-mail:blrhyg@extra.ocn.ne.jp

http://www6.ocn.ne.jp/~blrhyg/

【アクセス】

- ・神戸市営地下鉄山手線「県庁前駅」から徒歩7分
- ・JR神戸線「元町駅」西出口から北へ徒歩15分



新着図書

2010年9月

- 『大人教夏季研 実践報告集』（大阪府人権教育研究協議会、2010.8）
- 『ムグンファ』（在日韓国学生同盟京都府本部、2010.6）
- 『恥と名誉—移民二世・ジェンダー・カーストの葛藤を生き延びて』（ジャスビンダル・サンゲラー著、阿久澤麻理子訳、解放出版社、2010.6）
- 『夕茜』（畑井政雄著、1992.8）
- 『現代世界と人権 24 今、問われる日本の人種差別撤廃—国連審査とNGOの取り組み』（反差別国際運動日本委員会、2010.9）

2010年10月

- 『あまがさき人権まつり 10 パンフレット』（あまがさき人権まつり 10 実行委員会、2010.11）
- 『よみがえった黒べえ』（木下川解放子ども会担当者一同、2008.11）
- 『日本女性会議'98 あまがさき 報告集「個」と「個」で紡ごう 共生社会』（日本女性会議'98 あまがさき実行委員会、1999.3）
- 『ともだちのにおい』（兵庫県人権保育研究協議会、2010.9）
- 『小さき者を打つな！兵庫における定時制高校統廃合反対の闘い・資料』（兵庫県立川西高校 / 同宝塚良元校の存続を求める会 [川西・猪名川] / 宝塚良元校・川西高校の存続を求める会 [宝塚] / 伊丹市立高校（定時制）を守る会 [伊丹] / 定時制高校の存続を求める西宮市民の会 [西宮] / 全ての子に高校教育の保障を求める尼崎市民の会 [尼崎]、2010.10）
- 『将来を語る政策研究集会 2010 ～あたらしい障がい者制度をめざして～—当事者を抜きに決めないで— 当日資料』（ひょうご地域福祉政策研究会、2010.10）

2010年11月

- 『子どもと教科書全国ネット 21 第13回総会・議案書』（子どもと教科書全国ネット 21、2010.6）
- 『知っていますか？戸籍と差別』（佐藤文明著、解放出版社、2010.11）
- 『疑問スッキリ！セクハラ相談の基本と実際 被害者の立場 加害者への対応 再発をふせぐパワハラ&アカハラ』（周藤由美子著、新水社、2007.10）
- 『生きていくための短歌』（南悟著、岩波書店、2009.11）

2010年12月

- 『あまがさき人権まつり 09 パンフレット』（あまがさき人権まつり 09 実行委員会、2009.11）
- 『2010年度第40回大阪府人権教育研究豊能大会～差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育の確立をめざして～』（大阪府人権教育研究協議会、2010.10）
- 『カトリック大阪大司教区こどもの里 2009年度事業報告』（カトリック大阪大司教区こどもの里）
- 『2009年度近畿大学学生の人権意識調査報告書（集計編）』（近畿大学人権問題研究所、2010.3）
- 『2009年度近畿大学学生の人権意識調査報告書（分析編）』（近畿大学人権問題研究所、2010.5）
- 『播磨国姫路高木村の高田家文書』（高田家文書解読共同研究会編、ひょうご部落解放・人権研究所、2010.3）
- 『人権学習資料 29 「あなたは『働く』ことに何を求めますか？」』（鳥取県人権文化センター、2010.11）
- 『ケータイとインターネット ネット社会における青少年の健全育成を考える』（ひょうごインターネット安全利用推進機構）
- 『人権スキルブックⅡ』（兵庫県人権教育研究協議会、2010.11）
- 『のじぎく文芸賞』（兵庫県人権啓発協会編、兵庫県 / 兵庫県人権啓発協会、2010.12）
- 『生存学研究センター報告 14 「異なり」の力学—マイノリティをめぐる研究と方法の実践的課題』（山本崇記 / 高橋慎一編、立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点、2010.11）

2011年1月

- 『在日コリアン辞典』（国際高麗学会日本支部『在日コリアン辞典』編集委員会編、明石書店、2010.11）
- 『みんな なかよく じんけんぬりえ』（京都府）
- 『写真で見る在日コリアンの100年—在日韓人歴史資料館図録』（在日韓人歴史資料館編著、明石書店、2008.12）
- 『日弁連人権行動宣言』（日本弁護士連合会編、明石書店、2010.10）
- 『兵庫のすがた』（兵庫県企画県民部政策室統計課、2009.3）

※2月以降受入分は、ホームページでご覧いただけます。

人権歴史マップ 但馬版

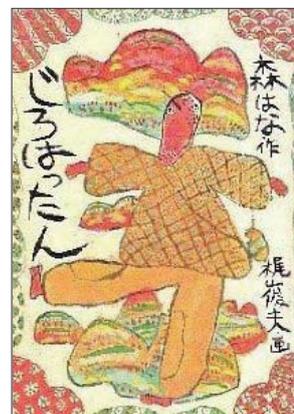
まだまだ編集中!

当研究所では、兵庫県内をいくつかの地域に分けて、部落問題をはじめとするさまざまな人権に関する歴史をまとめた『人権歴史マップ』を刊行しています。神戸版、丹波版、阪神版、播磨版を刊行してまいりましたが、現在、10月刊行を目指して、但馬版を編集中です。刊行が遅くなり申し訳ありません。

CONTENTS(仮)

- 但馬から奈良へ一東大寺大仏殿造営に送り出された奴隷労働者 (朝来市)
- 森はなと『じろはったん』(朝来市)
- 生野代官所と高札(朝来市)
- 八鹿高校事件(養父市)
- 山田風太郎(養父市)
- 明延・中瀬鉱山と朝鮮人(養父市)
- 十日町長事件(豊岡市)
- 城崎温泉と非人湯(豊岡市)
- 万歳師嘉四郎の墓(豊岡市)
- 入浴差別と宝泉寺境内にできた共同浴場(新温泉町)
- 香住にあった隔離病舎(香美町)

他、多数予定



『じろはったん』
森はな作・梶山俊夫画

被災朝鮮学校へのカンパのお願い

「日朝友好兵庫県民の会」では、東日本大震災で被災した朝鮮学校を支援することに決めました。仙台市にある東北朝鮮初中級学校は、校内のあちこちに亀裂が入り、校舎は地盤沈下のため、ねじれと歪みで使用不能の全壊状態。郡山市の福島朝鮮初中級学校は一部損壊の校舎は使用可能ですが、放射能危険区域に住む生徒の一部が県外に移住するなど、生徒の減少は学校存亡にかかわる問題です。

東北の朝鮮学校に支援の手を。募金の協力をお願いします。

日朝友好兵庫県民の会

■問い合わせ先

日朝友好兵庫県民の会事務局

(部落解放同盟兵庫県連合会内)

▶神戸市中央区山本通4丁目 22 - 25

兵庫人権会館内 / TEL:075-222-4747

♪ 研究所のご近所さん ♪

今回ご紹介するのは、C.A.P (特定非営利活動法人 芸術と計画会議) が運営するカフェ。場所は、研究所の新事務所の近くにある『神戸市立海外移住と文化の交流センター』の1階です。



C.A.PとはThe Conference on Art and art Projectsの略称で、「芸術と計画会議」の意味。芸術を媒介として、職業、年齢、性別、国境などの境界を越えて、あらゆる人々が集まり、対話し、意見交換ができる場を持つことが重要だという考えのもと、『海外移住と文化の交流センター』の“芸術を生かした創生の広場”を担当として活動



されています。

広くてすっきりとした店内、壁には大きな絵画が飾られています。傍らに置いてある雑誌や本を読みながら、ゆったりできそうな空間です。



メニューはドリンクが中心ですが、特製カレーもあります。ほっと一息ついてランチもできそうです。ぜひ一度お立寄りください。

menu

- ・珈琲 / カフェオレ / 紅茶 / カモミールティー / チョコレートドリンク / オレンジジュース / アップルサイダー (各 400円)
- ・生ビール / カンパリソーダ (各 500円)
- ・特製カレー 600円

▶営業時間 11:00 ~ 19:00 ▶定休日 月・火

▶〒650-0003 神戸市中央区山本通3-19-8
神戸市立海外移住と文化の交流センター1階
TEL/FAX:078-222-1003

部落解放研究第32回兵庫県集会

創ろう人権社会・深めようきずなと支え合い

—狭山事件の再審実現と東日本大震災への支援を—

- 開催日：2011年10月29日(土)～30日(日)
- 会場：城崎大会議館大ホール 他
- 参加費：3500円(当日資料・報告書など)
- 宿泊費：13000円(夕・朝食費を含む)
- 主催：部落解放研究第32回兵庫県集会実行委員会



【集会日程】

10月29日(土)

- 記念講演：自分らしく輝く一女と男、笑いでコミュニケーションー

○講師：桂あやめ(落語家)

▶プロフィール

1964年生まれ、神戸市出身。創作落語を中心に活躍する女流落語家。桂文枝に入門し、女に落語はできないという固定観念の壁に、自作の落語で風穴を開けるべく、身近な女性を主人公にしたネタをどんどん創作し続けている。著書に『桂あやめの艶姿ナニワ娘』(東方出版)がある。

- 映画上映「祝の島—1000年先にいのちはつづく」

山口県上関町祝島。1982年、島の対岸4キロメートルに原子力発電所の建設計画がもちあがった。「海は私たちのいのち」—祝島の人々は現在に至るまで反対を続けている。「いのちをつなぐ暮らし」とは何か。映画は静かに問いかける。

- 分科会

第1分科会 えん罪「狭山事件」

第2分科会 隣保館活動の現状と課題

第3分科会 児童養護施設と学校をつなぐ

第4分科会 戸籍謄本等第三者取得に対する本人通知制度について

第5分科会 『人権教育・人権啓発』内容の充実を求めて

- フィールドワーク

但馬・在日朝鮮人の足跡～『人権歴史マップ但馬版』から～



10月30日(日)

- シンポジウム：「東日本大震災～私たちに何ができるのか～」

○パネリスト

本橋成一(写真家・映画監督。「ナー ज्याの村」「アレクセイと泉」監督、「祝の島」プロデューサー)

齋藤富雄(兵庫県国際交流協会理事長/前兵庫県副知事)

ロニー・アレキサンダー(神戸大学大学院国際協力研究科教授)

辻芳治(日本労働組合総連合会兵庫県連合会事務局長)

○コーディネーター

橋本貴美男(部落解放同盟兵庫県連合会書記長)

- 申し込み先

部落解放研究第32回兵庫県集会事務局(ひょうご部落解放・人権研究所内)

▶TEL:078-252-8280 FAX:078-252-8281

E-mail:blrhyg@extra.ocn.ne.jp